

心豊かでたくましく共に生きる子ども



# ひらかた

8・9月号

令和6年8月26日

上尾市立平方小学校

校長 大野 和孝



ホームページ

[上尾市 平方小学校](#)

検索

QRコード

## ～実りの秋～

校長 大野 和孝

実質37日間の夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。子供たちの元気な声と笑顔が学校中に溢れています。朝、登校してくる子供たちの挨拶や会話から、夏休みを有意義に過ごし、一段と大きく成長した姿とともに、新学期に向けて期待に胸を膨らませていることを感じました。夏休み期間中、大きな事故や事件もなく、無事に2学期がスタートできるもの、ご家庭や地域の皆様の温かい見守りのお陰と感謝申し上げます。

物事には、すべて「初め」と「終わり」があります。子供たちは、夏休み前に目標を決め、計画を立てて過ごしていたと思います。その達成度はいかがだったでしょうか。人は往々にして初めは一生懸命よくやるものですが、最後までやり遂げるとなると、なかなか難しいことがあります。だからこそ子供たちには、「これだけは」というものを決め、一つのことを突き通す意志、一つのことに打ち込む情熱をもって取り組み、やり遂げる厳しさや達成感を味わう経験をしてほしいです。

夏休みに入り、パリオリンピックが開催されました。ご家庭でテレビ等を通して応援をした方もいたことと思います。前回の東京オリンピックではなかった歓声が響き渡る会場の中で、競技を行うアスリートの姿にいつの間にか自分自身を重ね、手に汗握っていたことを思い出します。多くのアスリートから感動や勇気、明日への活力をもらいました。インタビューでは、諦めずにやり続けてきたことへの達成感、支えてくれた方々への感謝の気持ち等を言葉にしているのが印象的でした。

さて、2学期は『実りの学期』です。ひらまるンピックや音楽会、様々な校外行事も予定されています。毎日の授業とともに学校行事は、子供の力を伸ばす大きなチャンスと捉えています。学習でも運動でも芸術的な分野でも、その取組にチャレンジしてさまざまな経験を積み、やり遂げた自信が、次のステージに進む原動力になると考えています。生活面でも学習面でも、子供たちの大いなる成長が期待できる2学期です。充実した日々が過ごせるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。2学期もよろしく願いいたします。

## ～防災について～

今年の夏は、猛暑に加え、雷雨や台風による暴風、大雨でさまざまな地域で停電や冠水などの被害が報告されています。また、東日本大震災以降も各地域で大きな地震が発生しており、記憶に新しいところでは8月に南海トラフ地震臨時情報の「巨大地震注意」が初めて発表されました。科学の発達で自然現象についても随分予測されるようになりましたが、「天災は忘れたことにやってくる」という先人の言葉があるように、平常時における心構えと具体的な準備が大切だと思います。また、「天災はいつ来てもおかしくない」という一段高い防災意識が必要であると感じています。

本校では、1学期に実施した市内一斉避難訓練のほか、学期に1回、想定を変えた避難訓練や9月には警察の方のご協力を得て、不審者対応避難訓練を計画しています。地震を想定した避難訓練では、『「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」ところでサルのポーズ・ダンゴ虫のポーズ』を合言葉に「自分の命は自分で守る」意識を高めています。

災害への準備の一つに、各ご家庭で「災害発生時の約束」について確認し合うことがあります。学校以外で家族と離れている時、交通機関、携帯電話などが使えなくなった場合に備え、しっかり話し合っておくことが大切であると思います。